

教育目標

令和8年度
より改訂

「自ら学び、共に育ち、未来を創る」
・自律
・協働
・創造

令和8年度学校教育目標

～大人になる練習をし、夢をかなえる土台を築く生徒の育成～

- 自分の意思と判断で、責任をもって行動し学び続ける生徒「課題対応能力」
- ◎他者と支え合い、ともに成長しながら多様な価値を認め合う生徒「人間関係形成力」
- 地域・社会と関わりながら新しい価値や可能性を切り拓く生徒「社会貢献力」

子どもたちの今も未来も幸せ
にするために。

キーワード
「信頼」・「温もり」・「笑顔」

『人生100年時代の
社会人基礎力』(経済産業省)
*前に踏み出す力
*考え抜く力
*チームで働く力

目指す学校像

- 大人になる練習し、夢をかなえる力を育む学校
- 一人ひとりが良さを発揮でき、笑顔があふれる学校
- 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育むために積極的に教育活動の改善・充実を図る学校
- 保護者や地域から信頼され、安心して生徒を通わせることができる学校

目指す生徒像

- 十中生であることを誇りに思い、「明るいあいさつ きれいな学校 時間を守る」を実践する生徒
- 思いやりの心を持ち、行動する生徒
- 失敗を恐れず挑戦し、粘り強く自らの力をより高く伸ばそうと努力する生徒
- 主体的に考動し、自己の役割を果たす、折り合いをつけて前に進むなど、チームで働く生徒

目指す教師像

- 大人として率先垂範する教師
- 生徒の学びを支援できる授業改善を積極的に進める教師
- 認め励まし、一人一人の望ましい自己実現や集団への適応を温かく支援できる教師
- 教育公務員としてサービスの厳正をし、組織の一員として強い自覚に基づいて職務を遂行する教師

今年度の重点目標

「生きる力」
を育む

(1) 「確かな学力」の育成

- ①「発見すること」「対話すること」「決定すること」「表現すること」の4つの視点を取り入れた授業改善。
- ②話し合いや教え合いの場面を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。
- ③一人1台タブレット端末等を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実。

(2) 「豊かな心」の育成

- ①暴力やいじめを許さない人権尊重教育の推進を通して、心豊かで他者を尊重する生徒の育成。
- ②教育活動全体において、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を実践し、生徒の自己指導能力の育成を図る。
- ③地域等との連携を一層充実させ、体験学習やボランティア活動等を推進し、地域社会の一員として自覚できる生徒の育成を図る。

(3) 「健やかな体」の育成

- ①健康と安全を意識させる指導を工夫し、行事や生徒会活動など、生徒が主体となって取り組み自己肯定感や自己有用感を育む活動を充実させる。
- ②基本的な生活習慣を主体的に身に付けさせるとともに、健康と安全についての理解を深めさせる。
- ③教育相談機能を充実させ不登校・特別支援教育など、健全育成上の課題に対してきめ細やかな対応を図る。

(4) 「連携による学力」の向上

- ①育てたい児童・生徒像を具現化する小中連携を一層推進する。
- ②PTA、スクールコミュニティ協議会、青少年対策第十地区委員会、地域等との連携を推進し、地域に開かれた学校、地域とともにある学校を目指す。
- ③自立に向けた学びと育ちを支援する特別支援教育、サポートルーム等一人ひとりに応じたきめ細やかな支援体制を構築する。

※あらゆる機会において「きづく」「つながる」「たかめる」教育活動の推進を図り、生徒の未来につなげる。

☆校長として全ての教職員を信頼し、「校務の責任は自分に帰する」と肝に銘じ、学校経営・運営を意図的・組織的・継続的に遂行し、誠実かつ迅速に全力で当たることを旨とする。